



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フライトホールディングス  
 コード番号 3753 URL <http://www.flight-hd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片山 圭一郎

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 松本 隆男

TEL 03-3440-6100

四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	1,037	133.6	123	—	110	—	98	—
28年3月期第2四半期	444	△32.6	△222	—	△238	—	△240	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 98百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 △240百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	10.37	—
28年3月期第2四半期	△25.38	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	1,269	410	32.3	43.38
28年3月期	1,415	311	22.0	32.92

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 410百万円 28年3月期 311百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,200	12.5	210	—	200	—	160	—	16.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	9,456,500 株	28年3月期	9,456,500 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	829 株	28年3月期	829 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	9,455,671 株	28年3月期2Q	9,455,671 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
(4) 追加情報	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策等により雇用及び所得環境が改善され、緩やかな回復基調にありましたが、円高進行や英国のEU離脱問題の影響等により、先行き不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループは、既存顧客向けのシステム開発及びデータセンター移転案件や電子決済ソリューション（「Incredist」、「Incredist Premium」及び「ペイメント・マイスター」）の開発及び販売に注力いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,037百万円（前年同期比133.6%増）、営業利益は123百万円（前年同期は営業損失222百万円）、経常利益は110百万円（前年同期は経常損失238百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は98百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失240百万円）となりました。

（単位：百万円）

	当第2四半期 (連結)	前第2四半期 (連結)	前年同期比	
			増減額	増減率
C&S事業(*)	412	281	130	46.3%
サービス事業	591	157	434	276.6%
ECソリューション事業	39	14	24	167.1%
調整額	△4	△9	4	—
売上高	1,037	444	593	133.6%
C&S事業(*)	54	△2	56	—
サービス事業	188	△63	251	—
ECソリューション事業	△0	△31	30	—
調整額	△118	△125	6	—
営業損益	123	△222	345	—
経常損益	110	△238	348	—
親会社株主に帰属する四半期純損益	98	△240	338	—

(\*) C&S事業：コンサルティング&ソリューション事業

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① コンサルティング&ソリューション事業

コンサルティング&ソリューション事業においては、既存顧客向けのシステム開発、保守及びデータセンター移転案件、並びに物流企業向けのシステム開発支援等を行いました。

引き合い状況は堅調であり、営業損益は概ね計画通り進捗しております。

以上の結果、売上高は412百万円（前年同期比46.3%増）、営業利益は54百万円（前年同期は営業損失2百万円）となりました。

#### ② サービス事業

サービス事業においては、電子決済ソリューション（「Incredist」、「Incredist Premium」及び「ペイメント・マイスター」）の開発及び販売に注力いたしました。

「Incredist」の大型案件の一部を納品したこと、並びに、Apple Pay対応の準備を進める顧客への決済アプリケーション「ペイメント・マイスター」のライセンス販売が拡大したことから、前年同期比で大幅な増収増益となっております。

以上の結果、売上高は591百万円（前年同期比276.6%増）、営業利益は188百万円（前年同期は営業損失63百万円）となりました。

#### ③ ECソリューション事業

ECソリューション事業においては、B2B向けECサイト構築パッケージ「EC-Rider B2B」の開発及び販売に注力いたしました。

売上及び営業損益は、概ね計画通り進捗しております。

以上の結果、売上高は39百万円（前年同期比167.1%増）、営業損失は0百万円（前年同期は営業損失31百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ145百万円減少し、1,269百万円となりました。主な増減要因は、売掛金の増加（84百万円増）、現金及び預金の減少（335百万円減）であります。

負債は、前連結会計年度末と比べ244百万円減少し、859百万円となりました。主な増減要因は、買掛金の減少（322百万円減）及び借入金の増加（44百万円増）であります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ98百万円増加し、410百万円となりました。主な増減要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上(98百万円)であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年10月17日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、損益に与える影響はありません。

### (4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	436,626	100,862
売掛金	627,459	712,257
商品	19,122	26,337
仕掛品	31,087	21,525
その他	26,926	136,852
貸倒引当金	△1,100	△1,300
流動資産合計	1,140,122	996,536
固定資産		
有形固定資産	16,665	15,200
無形固定資産	20,826	16,664
投資その他の資産		
長期貸付金	75,000	—
投資不動産(純額)	194,447	193,939
その他	43,411	47,148
貸倒引当金	△75,000	—
投資その他の資産合計	237,858	241,087
固定資産合計	275,351	272,952
資産合計	1,415,473	1,269,489
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	378,739	56,079
短期借入金	416,848	466,896
未払法人税等	5,581	16,087
賞与引当金	5,130	—
その他	65,921	87,807
流動負債合計	872,221	626,870
固定負債		
長期借入金	222,251	216,504
その他	9,755	15,882
固定負債合計	232,006	232,386
負債合計	1,104,227	859,257
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,205,123	1,205,123
資本剰余金	1,195,798	1,195,798
利益剰余金	△2,089,464	△1,991,366
自己株式	△1,275	△1,275
株主資本合計	310,182	408,280
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,064	1,951
その他の包括利益累計額合計	1,064	1,951
純資産合計	311,246	410,231
負債純資産合計	1,415,473	1,269,489

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	444,228	1,037,588
売上原価	381,465	629,391
売上総利益	62,763	408,196
販売費及び一般管理費	285,083	285,135
営業利益又は営業損失(△)	△222,320	123,061
営業外収益		
受取利息	787	454
受取賃貸料	1,155	1,200
貸倒引当金戻入額	—	1,000
その他	244	126
営業外収益合計	2,187	2,780
営業外費用		
支払利息	15,265	4,838
為替差損	—	8,145
不動産賃貸原価	2,547	2,241
その他	623	229
営業外費用合計	18,436	15,454
経常利益又は経常損失(△)	△238,569	110,387
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△238,569	110,387
法人税、住民税及び事業税	1,440	12,289
法人税等合計	1,440	12,289
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△240,009	98,097
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△240,009	98,097

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△240,009	98,097
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	887
その他の包括利益合計	—	887
四半期包括利益	△240,009	98,984
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△240,009	98,984

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△238,569	110,387
減価償却費	6,975	13,026
支払利息	15,265	4,838
売上債権の増減額(△は増加)	265,785	△84,797
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,276	2,356
仕入債務の増減額(△は減少)	△121,491	△322,660
その他	△10,781	△92,031
小計	△86,092	△368,879
利息及び配当金の受取額	787	454
利息の支払額	△15,252	△4,967
法人税等の還付額	7,437	—
法人税等の支払額	△570	△2,646
営業活動によるキャッシュ・フロー	△93,690	△376,039
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△20,143	△4,920
その他	△82	1,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,225	△3,920
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△33,750	51,405
長期借入金の返済による支出	△7,104	△7,104
財務活動によるキャッシュ・フロー	△40,854	44,301
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△104
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△154,769	△335,763
現金及び現金同等物の期首残高	704,845	436,626
現金及び現金同等物の四半期末残高	550,076	100,862



(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンサルティング &ソリューション 事業	サービス事業	ECソリューション事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	281,693	157,018	5,516	444,228	—	444,228
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	9,099	9,099	△9,099	—
計	281,693	157,018	14,615	453,327	△9,099	444,228
セグメント損失 (△)	△2,012	△63,506	△31,511	△97,030	△125,289	△222,320

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△125,289千円は、セグメント間取引消去148千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△125,437千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンサルティング &ソリューション 事業	サービス事業	ECソリューション事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	412,040	591,268	34,279	1,037,588	—	1,037,588
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	4,757	4,757	△4,757	—
計	412,040	591,268	39,036	1,042,345	△4,757	1,037,588
セグメント利益 又は損失(△)	54,310	188,342	△613	242,038	△118,977	123,061

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。